

## ねんであ がくしゅう 4年出会い学習

4年生は、社会科の「くらしを支える水」の学習から発展し、人権・総合学習の中で、大山田支所の川極さんから「奥馬野地区に下水処理場ができるまで」のお話を聞きました。川極さんは、「地域をよくしたい」「下流域の水質を守りたい」という思いから下水処理場の建設に携わったこと、工事が始まってからも何回も地域の人たちと話し合いをしたこと、決して途中であきらめなかったこと、やると決めた時には、地域のみんなが工事に協力して進めることができたことなどをお話してくださいました。

最後に「泥水を吸ってどうして花はきれいに咲けるのだろう。私たちは人のあたたかい輪の中にいるのにどうしてみにくいことを考えてしまうのだろう。」という言葉のメッセージをいただきました。子どもたちとこの言葉の意味を考えて、大山田小フェスティバルで発表しました。



## ねんであ がくしゅう 3年出会い学習

社会見学へ行く中で、子どもたちの中から「何でねぶたがライトピアにあるのかなあ。」「ねぶたとライトピアおおやまだには、どんな関係があるのかなあ。」と疑問が出て、1学期にねぶたのお話を聴かせてもらった堀川さんに来ていただくことにしました。その中で、学校に置いてあったねぶたが自分の所に戻ってきたとき破れていてつらかったことや、それを修理するた



めに反差別村民ネットワークの高校生や大人の人が協力してくれたことについてお話を聴きました。また、ねぶたを作っている目的が「反差別村民ネットワークを知ってもらうためだ。」ということなどについて話していただきました。子どもたちは、真剣な様子で堀川さんの話を聴いていました。お話の最後に堀川さんから「学校に置いておくジバニヤンのねぶたを、どうすれば学校全体で大事にできるか。」「いじめや仲間はずしが起きたとき、どうすればよいか。」「何か嫌なことがあったときに相談する友だちをつくる。」という3つの宿題をいただきました。堀川さんに教えてもらったことや、自分たちなりに考えていることを大山田小フェスティバルで劇にして伝えました。

# おおやまだしょう かいさい 大山田小フェスティバルを開催しました！

11月17日(金)、大山田小フェスティバルを開催しました。雨の中にもかかわらず、多くの保護者・地域のみなさまに参観いただきました。ありがとうございました。

1年生 「やったあ！！ 1ねんせい」

「校長先生や保健室の先生、用務員さんってどんな仕事をしているの？」と疑問を持ち、学校探検をして分かったことを劇にして発表しました。



2年生 「行け！ 大山田はっけんたい」

～ 大山田の「すてき」をさがして ～

校区探検(大山田駐在所、図書館、つばやさん、メリ樹さん)でお話を聞かせてもらい、「大山田ってすてきだなあ。」と思ったことを発表しました。



3年生 「安心してすごせるために」

～ 地域の方との出会いから ～

ライトピアおおやまだへの社会見学で学んだことや大山田をよりよくしようと活動している堀川さんから話を聞いたことや自分たちの生活を見直したことを劇にして発表しました。



4年生 「みんながきれいにさくために」

～ 一人ひとりにできること ～

「ゆめが丘浄水場」で働く人が安心して飲む水を作るために工夫していることや奥馬野処理場の建設にかかわった川極さんから聞き取りをしたことを発表しました。



5年生 「5年生で学んだこと」 ～ 人の気持ちを考えるために ～

人権総合学習の中で出会った弁護士の方、伊賀FCくノ一三重の方々、三重県人権センターの方からお話を聴きました。「人の気持ちを考えられるクラスにすること」「夢や目標に向かって努力すること」「おかしいことを見て見ぬふりをしないこと」を伝えました。



6年生 「笑顔でゴール」 ～一人ひとりが思いを出し合えるクラスをめざして～

修学旅行を舞台に、人権学習で学んだことや自分自身を振り返ったことを劇にして発表しました。いじめや差別をなくすために「本当の情報かどうかを自分で確かめること」「人の気持ちを想像すること」「安心できる学級をつくるためには一人ひとりの行動が大切であること」を伝えました。

